

西武鉄道新宿線、国分寺線及び西武園線（東村山駅付近）の連続立体交差事業と鉄道附属街路事業に関する用地測量説明会を開催しました。

平成24年12月14日に、東京都、東村山市及び西武鉄道株式会社の主催により、東村山駅付近の連続立体交差事業と鉄道附属街路事業に関する用地測量説明会を、関係する方々を個別にご案内して、中央公民館で開催しました。

説明会では、事業の概要、今後の事業の進め方、用地測量についてご説明し、出席された皆様からご質問等をいただきました。



用地測量説明会の様子

※説明会当日の主な質疑は裏面をご覧ください。

用地測量の事前調査にご理解・ご協力をお願いします。

市で整備する鉄道附属街路事業（※新鉄付1・3）に関する用地測量の事前調査を実施します。事前調査は、現在の地形や道路、建物の位置などを確認する測量作業などを予定しています。ご案内が届いた方におかれましては、作業へのご理解、ご協力をお願いします。また、公道上でも作業を行うこととなりますので、近隣の皆様におかれましても、作業へのご理解をお願いします。

測量作業は、市から委託を受けた会社が行います。作業員は、腕章を着用の上、身分証明書を携帯しています。

西武鉄道新宿線、国分寺線及び西武園線（東村山駅付近）
連続立体交差事業と鉄道附属街路事業

東京都 東村山市 西武鉄道

【腕章】

※市で整備する路線の範囲については、裏面をご覧ください。



用地測量説明会における主な質問と回答



事業認可の時期、工事期間について教えてください。

連続立体交差事業と鉄道附属街路事業の事業認可は、平成25年度に取得する予定です。この事業認可取得後、おおむね12年間で用地取得と工事を完了させる予定です。

用地取得の時期について教えてください。売却を急ぐ場合など、事情は考慮してくれますか。

用地取得の時期は、平成25年度に予定している事業認可取得後になります。個々の事情については、相談しながら対応させていただきたいと考えています。

高架下に新たな道路を整備する計画はあるのですか。例えば、美住町から市役所へ行く道路など。

市では、市民の皆様が主体となって策定した「東村山駅周辺まちづくり基本構想（平成22年2月策定）」に基づき、まちづくりを推進しています。基本構想では、踏切の除却にあわせて、新たな東西方向の道路ネットワークの整備を進め、分断されているまちの一体化を推進する考え方を示しています。この考え方に基づき、現在東西方向の新たな道路整備の検討を進めています。

連続立体交差事業だけで街の発展は見込めない。周辺の都市計画道路整備はしないのですか。

連続立体交差事業の整備とあわせて、東村山駅周辺に計画されている都市計画道路 3・3・8 号線や 3・4・10 号線の整備を進めていきます。

市に問合せがある中で多いのが、事業主体に関する問合せです。あらためて皆様にご説明します。



連続立体交差事業と鉄道附属街路事業（新鉄付2、園鉄付1・2）は、東京都が事業主体となり、鉄道附属街路事業（新鉄付1・3）は、市が事業主体となります。事業範囲は図のとおりです。

今後も、東村山駅周辺まちづくりの状況・動向は、このニュースでお知らせしていきます。東村山駅周辺での「こんなところが良い…」、「こうすればもっと良くなるのに…」など、ご意見ご要望がありましたら下記までどうぞ。

問合せ先：東村山市本町1丁目2番地3 東村山市都市環境部まちづくり推進課

電話：042-393-5111（代表）内線 2793 FAX：042-397-9438

メール：machi@m01.city.higashimurayama.tokyo.jp

URL：http://www.city.higashimurayama.tokyo.jp

トップページ→市政情報→まちづくり・都市計画→まちづくりの取り組み→東村山駅周辺まちづくり